

# 來自UPOPOY工作人員的 UPOPOY魅力介紹

UPOPOY職員によるUPOPOYの魅力紹介  
The Staff of UPOPOY Introduce the Fascinating Things of UPOPOY

文・圖 | 秋元阿弥、古巢晴香、源島美咲、猪子真奈実、上河彩、桐田晴華、  
笹村律子 (愛努民族文化財團民族共生象徵空間UPOPOY工作人員)

譯者 | 廖彥琦 (元雅貿易公司職員)

文責・図 | 秋元阿弥、古巢晴香、源島美咲、猪子真奈実、上河彩、桐田晴華、  
笹村律子 (アイヌ民族文化財團民族共生象徵空間UPOPOY職員)

訳者 | 廖彥琦 (元雅貿易会社員)

**irankarapte** ! これはアイヌ語の挨拶です。私たちが働いている民族共生象徵空間、UPOPOYでは、施設内の看板や展示のキャプションなどで様々な言語を用いていますが、アイヌ語を1番目に表示しており、挨拶もアイヌ語で交わされています。今回の台湾研修で訪れた九族文化村では、「ナルワン」という挨拶が交わされていました。今回の台湾研修では、訪問先の皆さまから原住民族の魅力などをたくさん教えていただきましたので、今度は私たちからUPOPOYの魅力を紹介させていただきます。



ウポポイ園内マップ。  
UPOPOY園区地図。

**irankarapte** ! 這是愛努族的打招呼用語。在我們工作的民族共生象徵空間UPOPOY，園區內的看板與展示的說明文等雖使用各式各樣的語言，但愛努語是第一個最先呈現的，且打招呼也是以愛努語來表達。在這次台灣研習所拜訪的九族文化村，則有以「naruwan」那樣的問候語互相致意。在這次的台灣研習中，承蒙交流的各位傳達了許多原住民族的魅力等特色，現在就讓我們向各位介紹UPOPOY的魅力。

## 1 西エリア—yayhanokkar cise 体験学習館

西エリアにある『yayhanokkar cise 体験学習館』では、アイヌの伝統的な楽器の演奏や製作、また、アイヌの食文化についてのワークショップを体験することができます。楽器演奏体



写真①：伝統的な楽器mukkuri。  
照片①：傳統樂器mukkuri。

験ではmukkuri (写真①) とtonkori (写真②) というアイヌの伝統的な楽器に触れることができます。

mukkuriは口琴という種類の楽器です。台湾の訪問先でもタイヤル族をはじめとする原住民族の口琴が展示されていました。展示されていた口琴は金属製で多弁のものでしたが、アイヌ民族のmukkuriは竹または金属製の一弁で、ひとりないし数人で、音色や響きそのものを即興的に組み合わせ、自然界にある雨風の音や動物の鳴き声、自分の感情などを表現します。夏休みの特別イベントでは自分でmukkuriを製作し、製作したmukkuriで演奏の練習をするプログラムを行っています。

tonkoriは樺太や北海道北部で伝承されてきた楽器です。楽器演奏体験では樺太で伝承されてきた楽曲を聴くことができます。台湾でも翻訳されている日本の人気漫画や、日本の代表的な文学賞を受賞した文学作品に登場したこともあり、海外からのお客様からも「ぜひtonkoriを弾いてみたい!」というお問い合わせをいただくことが多くなりました。指で弦を押さえずに演奏する弦楽器で、抱きかかえるようにして支えるので、演奏していると響きが振動になって体に伝わってきます。一弦ずつシンプルに優しく弾いたり、アップテンポな曲でかき鳴らした

## 1 西區—yayhanokkar cise 体験学習館

位於西區的『yayhanokkar cise 体験学習館』，在這裡能夠體驗愛努傳統樂器的演奏或製作，以及有關愛努飲食文化的烹飪工作坊。在樂器演奏體驗方面，則能接觸到愛努族的傳統樂器mukkuri (照片①) 與tonkori (照片②)。

mukkuri屬於口琴類的樂器。在這次台灣拜訪單位中，也展出了以泰雅族為首的原住民族口簧琴。其所展示的是金屬製多簧結構的口簧琴，而愛努族的mukkuri是以單一的竹片或金屬製成，由一人乃至數人即興搭配吹出音色或琴聲，藉以表現自然界的風雨聲或動物的鳴叫聲，以及自身的情感等。在暑假的特別活動中，會有自己動手做mukkuri，用製作完成的mukkuri練習吹奏的體驗課程。

tonkori是在樺太(庫頁島)與北海道北部等地流傳下來的樂器。在樂器演奏體驗中，可以欣賞到在樺太流傳至今的樂曲。這些曲子也曾出現過在台灣被翻譯的日人氣漫畫裡，或獲頒日本代表性文學獎的文學作品當中，來自國外的訪客也有「無論如何想要彈奏看看tonkori」等多次詢問的



写真②：伝統的な楽器tonkori。  
照片②：傳統樂器tonkori。



写真③：体験交流ホールにおける伝統芸能の上演。  
照片③：在體驗交流大廳演出的傳統藝能。



写真④：体験交流ホールにおける伝統芸能の上演。  
照片④：在體驗交流大廳演出的傳統藝能。

りと、演奏方法によって音の表情が変わるところに魅力を感じます。

食文化体験では、アイヌ料理を実際にご自分で作って食べることができます。アイヌ料理の特徴の一つである保存食や、四季折々の食材を使った料理を紹介しています。伝統料理はもちろん、家庭でも再現できるようなメニューを作ることができます。乾燥保存された食材を使って、変化に富んだおいしくて栄養価の高い料理を作り出してきたアイヌ民族の知恵を体感していただけます。また、料理の紹介だけでなく、材料の採集や保存方法などの作業の解説も交え

廻響。これは不用手指壓弦演奏の弦楽器、而盡量抱著以做支撐，彈奏時，聲音會透過震動傳遞到身體。時而簡單優雅彈奏每一琴弦，時而撥彈節奏快速曲子，藉由不同的演奏方式，可以感受到音符表情變化的魅力。

在飲食文化體驗方面，可以實際製作並品嚐到愛努料理。在這當中會介紹愛努料理特徵之一的保存食物，以及使用四季當令食材的料理。除了傳統料理外，還可以學習烹飪在家也能夠重現的菜單。能讓訪客充分體驗愛努民族如何使用乾燥保存的食材，做出富於變化且營養價值高又美味的料理的智慧。然而，不只是介紹料理，同時也會有食材的採集與保存方法等過程的解說，並介紹流傳於現代的愛努自然觀與世界觀等。

## ② 西區—uekari cise 體驗交流大廳

同樣位於西區的『uekari cise 體驗交流大廳』是為了展演愛努傳統藝能的設施。在沒有舞蹈公演的特定時段，也能欣賞到愛努族流傳至今的傳說動畫影片。

ながら、現代に伝わるアイヌの自然観や世界観を紹介しています。

## ② 西エリア—uekari cise 体験交流ホール

同じく西エリアにある『uekari cise 体験交流ホール』は、アイヌの伝統芸能を披露するための施設です。舞踊公演のない時間帯はアイヌに受け継がれてきた物語のアニメーション映像を楽しめます。

体験交流ホールにおける伝統芸能の上演では、各地域の伝承者の方々からその土地に伝わる歌や踊りを直接教えていただいたものや、昔の映像や音声資料を基に復元を試みたものからいくつかをお客様に披露しています（写真③・④）。それぞれの舞台により、コンセプトや演出が異なります。全公演で同じ演者が同じ演目をするのではなく、公演ごとに演者が異なるので、たとえばmukkuriの演奏でも、弾く人によ

在體驗交流大廳所演出的傳統藝能，是由各地區的傳承者直接教授在其土地傳誦的歌曲與舞蹈，或者嘗試以過去的影像與聲音資料等為基礎而復原的歌舞中，向觀眾展演若干曲目（照片③、④）。由於各有不同的表演舞台，所呈現的概念與演出內容也有所不同。這並不是指在全公演當中，同樣的演出者表演相同的節目，而是每一場公演因演出者而不同，例如mukkuri的表演，會根據吹奏的人而能欣賞到全然不同音色的節目（照片⑤）。

另外，由於會換上與流傳著這些舞蹈的地區切合的服裝，因而從服裝上也能感受到地方特色。這些衣服皆為手工製作，由各地區的傳承者製作，或者工作人員也會穿著自己製作的衣服。



写真⑤：mukkuriの演奏。  
照片⑤：mukkuri的表演。

り全く異なる音色を楽しんでいただけます。

また、踊りが伝承されている地域に合わせて着物を着替えているため、着物からも地域の特色を感じることができます。この着物は手作りされており、各地域の伝承者の方々に作っていただいたものや、職員が自分たちで製作したものを身に着けています。

体験交流ホールでは特別イベントとして各地域の伝承者の方々による舞踊公演も開催されています。通常の舞台では見ることができない各地域に受け継がれた伝統芸能を見ることができます。

各地域で伝承されてきた歌や踊りを体験交流ホールで披露させていただくのですから、私たちに歌や踊りを託してくれた気持ちを理解し、大切に踊らせていただいています。

### 3 東エリア—ikar usi 工房

東エリアの『ikar usi 工房』では、男性の手仕事、女性の手仕事をご覧いただけるだけでなく、木彫りや刺繍の体験もできます。

現在、工房の外では、技術伝承活動の一環として丸木舟を製作しています。（製作期間2023年6月～10月）北海道産の木を使い、完成後は伝承活動やプログラムで使用します。

着物の製作の他にも、糸の製作の過程として、樹皮を外の池に浸したり、天日干ししたりする様子も見ることができます。

### 4 東エリア—teeta kane an kotan 伝統的kotan

同じく東エリアにある『teeta kane an kotan 伝統的kotan (集落)』では、伝統家屋ciseが再現され、見学することができます（写真⑥）。囲炉裏では実際に火を焚いており、アイヌの暮らしや精神文化を知ることができ、生活に関わる道具を間近に見ることもできます。

在體驗交流大廳，也會舉辦特別活動，是來自各地區傳承者的舞蹈公演。在這裡能夠欣賞到在一般舞台所見不到在各地區承繼下來的傳統藝能。

藉由在體驗交流大廳向觀眾展演各地區傳承至今的歌曲與舞蹈，因而讓我們領悟到寄託在歌曲與舞蹈中的心意，每回演出都是格外地慎重珍惜。

### 3 東區—ikar usi 工房

在東區的『ikar usi 工房』，不只有可以參觀男性、女性工藝家實際製作的工藝品，也能夠體驗木雕與刺繡。

現在，在工房的外面，正在打造整顆原木創作的獨木舟，這是技術傳承活動的一環。（製作期間為2023年6月至10月）使用北海道當地的木頭，完成後將會在傳承活動或節目表演中使用。

除了傳統服裝的製作之外，也能夠參觀到織線製作的過程，包括將樹皮浸泡於戶外的池水中，以及日曬的樣子。

### 4 東區—teeta kane an kotan 傳統的kotan

在同樣位於東區的『teeta kane an kotan 傳統的kotan (村落)』中，可以實地參觀重新還原的傳統家屋cise（照片⑥）。地爐會燃燒真的柴火，從中得以認識有關愛努族生活與精神文化的思維模式，且也可以近距離地參觀與日常生活息息相關的用具。在cise裡，男性負責製作有特殊圖樣的

ciseでは、男性は、独特の文様が入った木彫りの箱やお盆などを製作し、女性は、男性が身に着ける脚絆や手甲、プログラムで使う小物類を刺繡しています。

春から夏の晴れている日は、屋外で、伝統楽器mukkuriや白老に伝わる伝統芸能を披露しています。

他にも、ciseの横では畑を耕し、穀物類を栽培しています。収穫した作物は、儀礼や展示に使用しています。

秋から冬は、ciseの中で伝統芸能を披露し、外では保存食（干し魚、ジャガイモの澱粉から作る団子）を拵えています。厳しい冬の気候を利用した保存食です。干し魚は捌いてから洗い、数ヶ月かけて寒干しをします。寒干ししてからは、ciseの中でじっくり燻製に仕上げます。お客様が見学できるciseでは、燻製した魚をご覧いただけます。

ジャガイモの澱粉から作る団子は、ジャガイモを屋外で雨や風、雪に晒し、冷凍と解凍を繰り返します。柔らかくなったジャガイモを、杵と臼で搗き、形を整えて乾燥させます。完成後は西側エリアの体験学習館の料理体験で使われています。

他に、伝統的kotanエリアでは、一年を通

木雕箱子或盤子，女性負責繡花縫製男性穿戴的綁腿、手套與節目演出時要用的小物件。

春夏天氣好的日子，在戶外演出傳統樂器mukkuri或流傳在白老的傳統藝能。

另外，在cise的旁邊耕種田地，種植農作物。收成後的作物，則用於儀式或展示。

秋冬之際，傳統藝能就在cise室內演出，戶外就製作保存食物（魚乾、馬鈴薯澱粉做成的糰子）。這些是利用嚴冬氣候製成的保存食物。晾乾的魚妥善處理過後，會加以清洗，再冷天裡風乾數個月。經過冷天的風乾，再拿進cise屋內慢慢燻製完成。在訪客可以參觀學習的cise屋內，可以看到已煙燻好的魚乾。

用馬鈴薯澱粉做成的糰子，是把馬鈴薯晾曬於有風或雨，甚或下雪的屋外，重複冷凍與解凍的過程。再以杵與臼搗碎已經變柔軟的馬鈴薯，加以整形後，進行乾燥。完成後，在西區的體驗學習館的料理體驗中使用。

另外，在傳統的kotan區域，則安



写真⑥：伝統家屋cise。  
照片⑥：傳統家屋cise。

してアイヌ語をテーマとしたプログラム、アイヌの世界観を伝える紙芝居や、期間限定のプログラムを用意しています。職員が毎年考案している特別感あふれるプログラムです。

### おわりに

UPOPOYでは、アイヌをはじめ、さまざまなルーツを持つ人たちが職員として働いています。私たちはUPOPOYの目的でもある「民族共生」を意識しながら、アイヌ文化の復興・発展に取り組んでいます。

本稿では、台湾研修の参加者それぞれが所属している施設の魅力を紹介させていただきましたが、他にも様々なプログラムをご用意して、台湾の皆様のお越しをお待ちしております。ぜひUPOPOYへお越しください！◆

排有一整年以愛努語作為主題的計畫，以及傳達愛努族世界觀的連環話劇與期間限定的節目演出。這些都是工作人員每年用心規劃充滿特別巧思的活動。

### 結語

在UPOPOY，以愛努為首，有著各自不同根源的工作人員在這裡工作。我們意識到「民族共生」，這也就是UPOPOY的宗旨，同時致力於愛努文化的復興與發展。

在本文裡向各位讀者介紹這次來台灣研習的參加者所屬的園區的魅力，除此之外，也準備了各式各樣的演出節目與體驗課程，期待台灣各位蒞臨。請務必前來造訪UPOPOY哦！◆

### 作者簡介



#### 秋元阿弥 AKIMOTO Aya

UPOPOY内アイヌ語名：hekacikoraci（「まるで男の子のようだ」の意。）  
北海道帯広市出身、1983年生。北星学園大学社会福祉学部卒業後、東京音楽大学大学院・民族音楽研究所に進学し現在も在学。2020年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部文化振興部体験教育課に勤務。楽器チームで楽器演奏体験プログラムを担当。

#### 秋元阿弥 AKIMOTO Aya

在UPOPOY的愛努族名：hekacikoraci（「像個男子漢」之意。）  
北海道帯廣市人，1983年生。北星學園大學社會福祉學部畢業後，繼續在東京音樂大學大学院・民族音樂研究所深造，目前在學中。2020年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部文化振興部體驗教育課。在樂器小組負責樂器演奏體驗活動課程。



#### 古巢晴香 FURUSU Haruka

UPOPOY内アイヌ語名：hecaka（「晴れる」の意。）  
山口県宇部市出身、1987年生。幼少期の約4年間を台北市で暮らす。東海大学文学部北欧学科卒業後、博物館等を経て2020年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部文化振興部体験教育課に勤務。2021年に食チームからkotanチームに異動。

#### 古巢晴香 FURUSU Haruka

在UPOPOY的愛努族名：hecaka（「晴朗」之意。）  
山口縣宇部市人，1987年生。童年時代約有4年的時間在台北市生活。東海大學文學部北歐學科畢業後，曾在博物館等處工作，2020年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部文化振興部體驗教育課。2021年從飲食小組調動至kotan小組。

### 作者簡介



#### 源島美咲 GEJIMA Misaki

UPOPOY内アイヌ語名：keci（「呻吟する」の意。gejiというあだ名に似た音から。）  
北海道千歳市出身、2000年生。北海道芸術高等学校マンガイラストコース卒業後、2019年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部に勤務。現在、伝統芸能課主事。主にアイヌ民族の伝統芸能等の披露に従事。

#### 源島美咲 GEJIMA Misaki

在UPOPOY的愛努族名：keci（「呻吟或吟詠」之意。從發音近似geji這個綽號而來。）  
北海道千歲市人，2000年生。北海道藝術高等學校漫畫插畫課程畢業後，2019年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部。目前為傳統藝能課專職人員。主要從事愛努族傳統藝能等的演出。



#### 猪子真奈実 INOKO Manami

UPOPOY内アイヌ語名：osmapo（「突進する子」の意。猪子という漢字の意味から。）  
北海道室蘭市出身、1991年生。藤女子大学文学部中途退学後、他の職を経て2019年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部に勤務。現在、伝統芸能課主事。主にアイヌ民族の伝統芸能等の披露に従事。

#### 猪子真奈実 INOKO Manami

在UPOPOY的愛努族名：osmapo（「勇猛向前衝的人」之義。從漢字「猪子」的含義取名。）  
北海道室蘭市人，1991年生。藤女子大學文學部輟學後，曾做過其他工作，2019年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部。目前為傳統藝能課專職人員。主要從事愛努族傳統藝能等的演出。



#### 上河彩 KAMIKAWA Aya

UPOPOY内アイヌ語名：pecanpo（「やせっぽち」の意。自身の外見から。）  
アイヌ民族。白老町出身、1997年生。札幌大学のurespa（「育て合い」の意）クラブに所属しアイヌ文化を学ぶ。卒業後、アイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部に勤務。現在、伝統芸能課主事。主にアイヌ民族の伝統芸能等の披露に従事。

#### 上河彩 KAMIKAWA Aya

在UPOPOY的愛努族名：pecanpo（「瘦小的人」之義。從自己的外表取名。）  
愛努族。白老町人，1997年生。參加札幌大學的urespa（「相互育成」之義）社團，學習愛努文化。畢業後，任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部。目前為傳統藝能課專職人員。主要從事愛努族傳統藝能等的演出。



#### 桐田晴華 KIRITA Haruka

UPOPOY内アイヌ語名：kuwanno（「真っすぐ」の意。自身の性格から。）  
アイヌ民族。北海道浦河町出身、1993年生。札幌大学でアイヌ文化等を学ぶ。卒業後、2019年からアイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部に勤務。現在、伝統芸能課主事。主にアイヌ民族の伝統芸能等の披露に従事。

#### 桐田晴華 KIRITA Haruka

在UPOPOY的愛努族名：kuwanno（「直率」之義。從自己的個性取名。）  
愛努族。北海道浦河町人，1993年生。在札幌大學學習愛努文化等。畢業後，2019年起任職於愛努民族文化財團民族共生象徴空間營運本部。目前為傳統藝能課專職人員。主要從事愛努族傳統藝能等的演出。



#### 笹村律子 SASAMURA Ritsuko

UPOPOY内アイヌ語名：rituru（「途中」の意。）  
アイヌ民族。北海道帯広市出身、1970年生。両親ともにアイヌ民族。30歳からアイヌ文化に取り組み始め、アイヌ文化勉強会の設立、テレビやラジオでのアイヌ文化の発信の他、アイヌ文化外部講師として高校や大学等で講義。現在、民族共生象徴空間運営本部のkotanゾーンの業務に従事。

#### 笹村律子 SASAMURA Ritsuko

在UPOPOY的愛努族名：rituru（「途中」之義。）  
愛努族。北海道帶廣市人，1970年生。雙親都是愛努族。30歲起開始致力於愛努文化，成立愛努文化學習會，除了在電視、廣播等推廣宣傳外，也擔任愛努文化外部講師在高中與大學等講課。目前負責民族共生象徴空間營運本部的kotan區域業務。